



岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」主催

3月8日 国際女性デー「ミモザの日」関連事業

華乃家
覇笛

開演…午後1時30分
(開場…午後1時)

令和8年3月7日(土曜日)

会場…さんかく岡山

春日家
みづち

ミモザ寄席

ミモザの花束の
明るい笑いをどけます

手うさ
扇蝶

笑皆亭
口口

藤本
刃七

入場無料

2/7(土)～
申込受付開始

先着
66名

►お申込先◀

「さんかく岡山」 電話のみで受付

TEL 086-803-3355

開館時間 <月・水～土> 9時30分～20時 <日・祝> 9時30分～17時
休館日 火曜日

要予約

* 当日は、マスク着用など感染症防止対策にご協力をお願いします。

笑皆亭 口

SHYOUKATEI KISS



落語は、口から口へと伝えられた話芸です。「口から口へ」だから『口口(キッス)』という芸名。
「ヘエ～古希過ぎ、くさあ～老いと
闘いながらの高座。

『泣くも一生。笑うも一生』。

演者紹介

春日家みづち

KASUGAYA MIZUCHI



岡山で落語をさせていただいて
毎年幸せです。
落語を始めて20年!
成人式を迎えました(笑)
まだまだ成長中のはずです。
今日もハッスルします。
皆様も楽しんでくださいね。

岡山大学落語研究会OG。ミモザ寄席スターTINGメンバー。3児の母となり、育児に奮闘中。

ここ数年、ミモザ寄席出演の度に
子が1人増えているらしい。
温かい目で見守っていただけますと幸
いです。

藤本 刃七

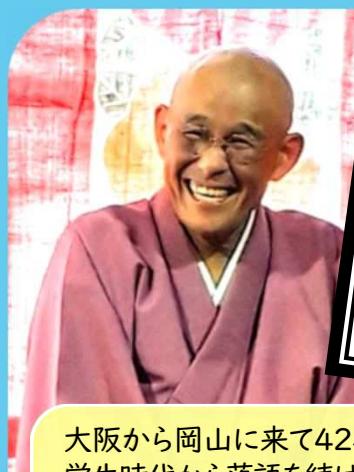
FUJIMOTO TOUSHICHI



江戸時代後期、特に幕末から盛んに
唄われてきたお座敷唄、端唄。
端唄は季節の移ろいや人々の心の
機微が、その唄の時代背景とともに
唄われる小さな唄です。
現在、小さなお座敷で端唄を楽しむ
「いと遊び」の会を主宰。藤本流師範

ふじのや 扇蝶

FUJINOYA SENGYO



大阪から岡山に来て42年。
学生時代から落語を続けてまいりました。
『にこにこ たのしく ゆっくりと』
人生を楽しみたいと思っています。
皆様との出会いに感謝感謝。

3月8日は国連が決めた “国際女性デー”です!

1908年にニューヨークで行われた婦人参政権を要求するデモを起源とし、1975年に国連が制定した、女性への差別撤廃と地位向上を訴える日です。

イタリアではこの日は、FESTA DELLA DONNA(フェスタ・デラ・ドンナ=女性の日)とされ、男性から女性にミモザの花を贈る風習があります。このことから『ミモザの日』とも呼ばれます。

☆「さんかく岡山」へのアクセス☆

岡山市北区表町三丁目14-1-201

- JR岡山駅から南東へ1.5km (徒歩約20分)
- 路面電車 <清輝橋行>「新西大寺町筋」下車(東へ徒歩約1分)
<東山行> 「西大寺町」下車 (西へ徒歩約3分)
- 天満屋バスステーションから南へ約500m (徒歩約7分)
- 契約駐車場はございません。お車でお越しの方は、
近隣の有料駐車場をご利用ください。

ジェンダーとは 生物学的な『性(sex)』ではなく、『社会的に作りだされた性のありよう』のこと。

たとえば、「女性はピンク、男性はブルー」とか「男は仕事、女は家事・育児」という考え方もジェンダーです。
日常生活の中で当たり前と思われ見過ごされている性差別的な意識を取り払い、誰もが個性を発揮できる社会をつくりましょう。

